

様式第7号（第8条関係）

市川市市民活動団体補助決定事業（中止・廃止）承認申請書

令和5年3月28日

市川市長

団体名 平田聖徳太子堂友の会

（団体番号 102 ）

代表者名

所在地

令和4年7月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の（中止・廃止）の承認を受けたいので申請します。

記

- 1 補助決定事業の名称 市川・ひらたの「郷土物語」と「お茶の会」
- 2 （中止・廃止）の理由 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため



市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和5年 3月31日

市川市長

団体名 三世代の親睦交流支援の会
(団体番号 103)
代表者名 [REDACTED]
所在地 [REDACTED]

令和4年10月 1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、
下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	341,227円
(2) 補助対象経費総額	72,891円
(3) 補助金交付決定額	80,750円
(4) 補助金交付概算払額	80,750円



(5) 実施報告

<p>補助決定事業の名称</p>	<p>子供、子育て世代、高齢者 交流支援事業</p>
<p>補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 令和4年12月17日(土)フレイル予防健康支援の会より講師4名を招聘し宮久保台自治会館にてロコモ度テスト、高齢者健康体操等指導を受ける。参加人数16名。指導終了後、お楽しみイベントを行う。 令和4年12月24日(土)宮久保台自治会館にてギターアンサンブル エルベラーノによりクリスマスコンサートを行う。参加人数20名。 子供対象イベント(マジックショー)を開催。 前回のフレイル予防健康体操が好評だったので再度開催し、お楽しみ会を追加開催しました。令和5年3月23日25名参加し社会見学会(迎賓館内他)を実施する。</p>
<p>広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<p>各役員によるPR及びイベントのビラ配布。 学校関係者、老人会等へのビラ送付。</p>
<p>補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 市川市民及び世代間のコミュニケーション不足解消、高齢者の引きこもり解消等を目指したがコロナの影響により密をさけつつイベントを開催する難しさがあったが数少ないイベントでの参加者間に面識ができ普段の生活の場においても会話ができるようになった、また年に1回では少なく、より回数を増やして欲しいとの希望も多数ありました。クリスマス演奏会では出演者とお客との対話も増え演奏希望曲もあり今後の課題として演奏者同士やり甲斐を感じています。マジックショーは初めての開催で周知方法に課題をかんじました。コロナ対策を配慮しつつ3月に社会見学会を実施、地域にとらわれない交流及び引き込こもらず積極的に外出を促すことを企画し実行しました。(この企画は初めて高齢者クラブ、宮久保台 緑会と共催しました)</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 会の存在、目的及びイベントのPRをもっと積極的に行う必要があるがコロナが収まりつつあるので各役員及び公的メディア等を活用し活動の周知を行う。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : ギターアンサンブルクリスマス演奏会

撮影年月日:令和4年12月24日



タイトル : ギターアンサンブルクリスマス演奏会

撮影年月日:令和4年12月24日



(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 社会見学会

撮影年月日: 令和5年3月23日



タイトル : 社会見学会

撮影年月日: 令和5年3月23日



(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : フレイル予防健康体操教室

撮影年月日:令和4年12月17日



タイトル : フレイル予防健康体操教室

撮影年月日:令和4年12月17日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称： 三世代の親睦交流支援の会

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	162,500	参加費6500×25人
寄附金収入		
補助金収入	80,750	
その他 (助成金等)	15,640	
会費充当	126,642	
補助金返金	△44,305	
合計	341,227	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	37,000	37,000	外部講師等の招へい あり/なし
交通費	99,830	0	社会見学交通費一部含む
消耗品費	13,691	13,691	イベント用コロナ対策用品等
印刷製本費	905	0	コピー代
通信運搬費			
保険料			
使用料及び賃借料	22,200	22,200	社会見学交通費(バス使用料)
原材料費	16,401	0 16,401	
食事代	96,000		
入場料	36,000		
企画料	19,200		
合計	341,227	72,891	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和5年 3月 11日

市川市長

団体名 三世代の親睦交流会支援の会
(団体番号 13)
代表者名 [REDACTED]
所在地 [REDACTED]

令和4年 7月 1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

子供、子育て世代、高齢者 交流支援事業

2 変更の内容

お楽しみ会、社会見学会の追加開催

3 変更の理由

コロナ禍により予定していたイベント参加人数が減少したため、地域にとらわれない交流及び引きこもらず積極的に外出を促すことを企画いたしました。



市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2022年7月1日

市川市長

団体名 人形劇大好き!市川の会
(団体番号 104)
代表者名 [REDACTED]
所在地 [REDACTED]

2022年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	688,710円
(2) 補助対象経費総額	544,834円
(3) 補助金交付決定額	300,000円
(4) 補助金交付概算払額	300,000円



(5) 実施報告

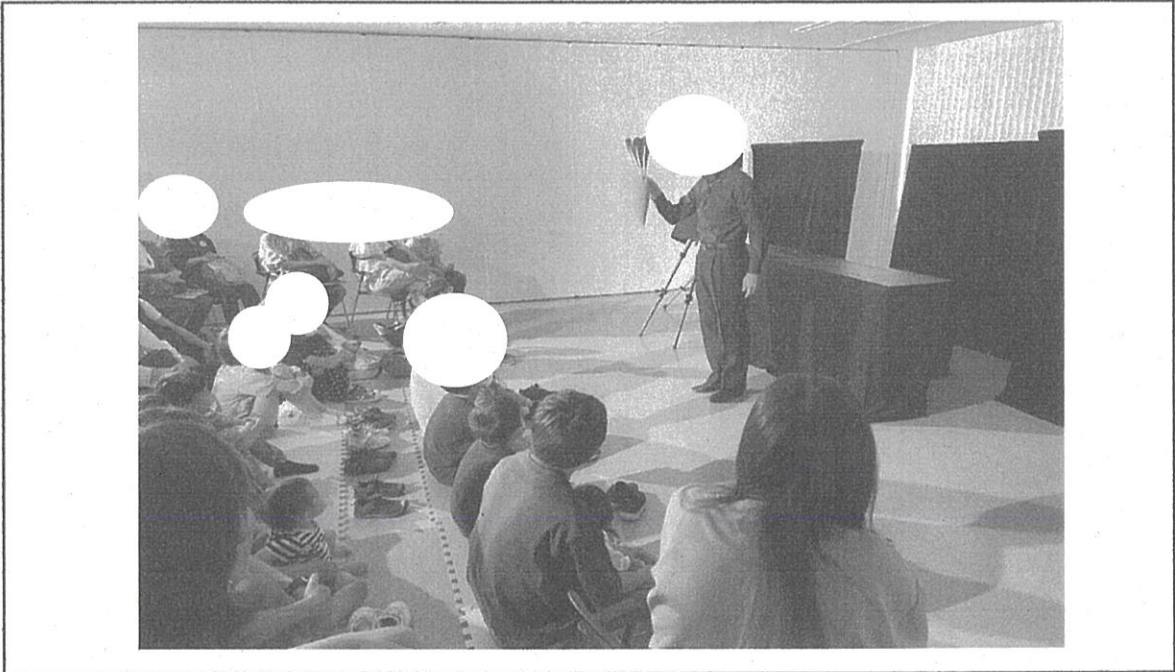
補助決定事業の名称	第3回いちかわおはなしフェスティバル
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>実施時期：令和4年6月5日(日) 実施場所：全日警ホール(全館使用) 内容：市川市や千葉県内で活動している人形劇サークル、朗読劇サークル、わらべうたや読み聞かせなどの活動をしている団体や個人を招集し、主に市内の親子を対象に32の作品の上演と工作やあそびの広場をフェスティバル形式で行った。また、プロの人形劇も2公演実施した。 参加人数：345人</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ3,000枚を公民館、近隣の保育園や幼稚園、小学校、子育て支援施設に配布・地域新聞に掲載を依頼し、2022年4月29日号第4面に掲載された。 ・子育てサークル等にチラシを手配り ・コープの組合員向けおたよりに掲載 ・SNSを使って、フェスティバルの告知をした
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市川市や近隣で人形劇や読み聞かせなどの活動を続けている人たちが一堂に集まり、それぞれが制作した作品を上演し合う機会となり、お互いの研鑽の場となった。また、子育て世代がそれらの作品に出会い、楽しさを発見し、自分もやってみたいと思うきっかけとなった。 ・フェスティバルにプロの劇団を招聘したことにより、アマチュアで活動している人たちも本物の舞台に出会うことができ、それぞれの作品作りに生かしていくための参考となった。 ・フェスティバルには市内の多くの親子が参加し、身近な場所で気軽に人形劇や朗読、わらべうたなどの作品に出会うことができた。コロナ禍でこのような機会がほとんどなくなってしまった中、子育て世代が親子で一緒に豊かな子どもの文化に出会い、みんなが笑顔となる楽しい時間を過ごすことができた。 ・短時間ながら、全公演終了後に招聘した人形劇等の団体やボランティアさん、スタッフ同士が交流する場が持てた。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数を制限しなければならないため、事前申し込み制としたが、早々に定員となってしまい、多くの参加を希望する親子の申し込みを断らなければならない状況となってしまった。フェスティバルに参加できなかった親子向けに別の場を提供することも考えていきたい。 ・来年以降も市川のおはなしフェスティバルとして、定着、継続していけるようボランティアさんの体制作りに取り組んでいきたい。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 「第3回いちかわおはなしフェスティバル」 ぱびぷぺぼ劇場さん

撮影年月日 : 2022年6月5日



タイトル : 「第3回いちかわおはなしフェスティバル」
おもちゃの広場(市川あにましおん)

撮影年月日 : 2022年6月5日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：第3回いちかわおはなしフェスティバル

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	172,500	参加費：500円×345人=172,500円
寄附金収入	83,000	協賛金16件
補助金収入	300,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	160,793	団体の本会計より充当
補助金返金	▲ 27,583	
合計	688710	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費	400,000	330,000	出演者謝金(プロ)120,000円+50,000円=170,000(うち補助対象金額は100,000円) 出演者謝金100,000円音響照明謝金30,000円チラシ作成謝金20,000円プログラム作成謝金30,000円バッジ図案謝金5,000円看板作成謝金40,000円報告書作成謝金5,000円
交通費	20,000	20,000	出演者・スタッフ駐車場代1,000円×20人
消耗品費	109,091	100,000	用紙代、色画用紙代、折り紙代、ラミネートフィルム、インク・マスター代・プリンターインク代、文具代（ポストカ、クレヨン等）テープ類、のぼり旗ボール・結束バンド代、消毒用品、掃除用品
印刷製本費	18,740	18,740	チラシ印刷代3000枚、プログラム案50部、折りパンフレット作成代700部、報告書100部、コピー代
通信運搬費	13,344	13,344	資料等郵送代、資材送料
保険料	14,000	14,000	イベント保険28円×500人
使用料及び賃借料	32,920	0	教育委員会後援を申請、承認を受けて全日警ホール借料(半額減免)となり補助対象外となりました。
原材料費	49,320	48,750	参加者缶バッジ作成代64円×600個、舞台用品
その他雑費	31,295		実行委員Tシャツ代31,295円
合計	688,710	544,834	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和5年3月31日

市川市長

団体名 市川縁結びおばさんの会

(団体番号 110)

代表者名

所在地

令和4年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	62,979 円
(2) 補助対象経費総額	42,359 円
(3) 補助金交付決定額	40,279 円
(4) 補助金交付概算払額	40,279 円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	婚活支援事業 市川縁結びおばさん
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>【サロン】年10回予定中9回実施 4月3日、5月1日、7月3日、9月4日、11月6日、12月4日、1月8日、2月5日、3月5日 【イベント・出会いの会】年2回実施 6月5日、10月2日</p> <p>コロナ感染拡大により、8月のサロンは休止とし、10月のイベントでは芋煮会を行う予定であったが、男女参画センターの調理工房は人数規制で1テーブル1人しか使用できないという事だったので、内容を変更せざるを得なかった。</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<p>主にSMS (ブログ、twitter) を利用し必要に応じて発信しPRしている。出会いの会のイベントがある時はより多くの人々の目につくよう商店街の店舗の人に頼んだり、有料にてスーパーマーケットの掲示板にポスターを貼って貰っている。</p>
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことにより、どのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>いちサポ補助金を申請することにより、改めて婚活支援事業の見直し、整理をすることができた。 参加者には安価で気軽に安心して参加できると好評で参加者も増えてきた。サロンやイベントを通して意見交換や情報交換をすることによって新たな気づきがあったり、顔見知りとなり終了後も会話が弾んでいたりする。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>結婚願望があるのに、なかなか出会いの場が少なくブログやポスターを見て参加したという人が多い。 参加者は男性が多く、男女ともに40歳前後の参加者が大半を占める。 男女のバランス、年齢の偏り等からニーズに対して完全に答えきれていない現状を踏まえ、より多くの人に参加してもらうためアピールの仕方、サロンやイベントの内容を検討し、結婚を望む市民の力となれるよう婚活支援事業を継続していきたい。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

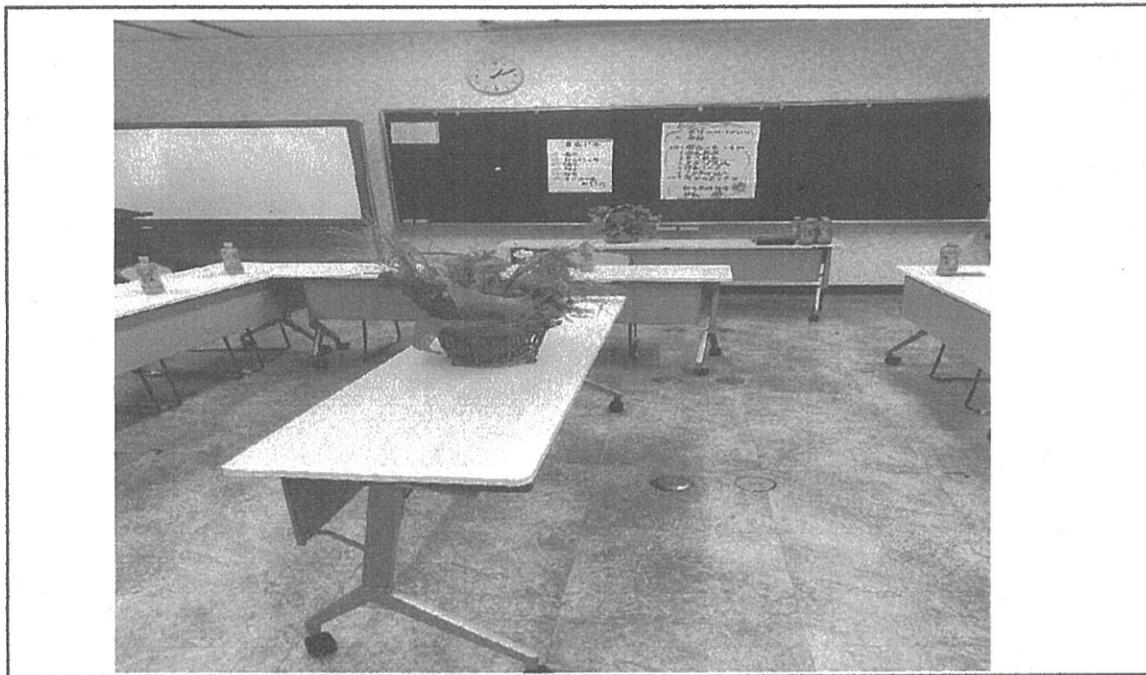
タイトル : 出会いの会

撮影年月日 : 2022年6月



タイトル : 出会いの会

撮影年月日 : 2022年10月



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 婚活支援事業 市川縁結びおばさん

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	41,800	サロン参加費200円×69人 イベント参加費1000円×28人
寄附金収入	0	
補助金収入	40,279	
その他 (助成金等)		
会費充当		
補助金返金	-19,100	
合計	62,979	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	0		外部講師等の招へい あり/なし
交通費	6,832	6,832	
消耗品費	14,047	14,047	インク代・イベント用お茶、花
印刷製本費	1,600	1,600	コピー代
通信運搬費	0	0	
保険料			
使用料及び賃借料	19,880	19,880	サロン・イベントの使用料 ポスター代
原材料費	0		
会議費	9,761		
通信費	10,859		ブログや参加者への連絡等の一部助成
合計	62,979	42,359	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

2023年 3月 31日

市川市長

団体名 市川縁結びおばさんの会

（団体番号 110 ）

代表者名

所在地

令和4年 4月 1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

婚活支援事業 市川縁結びおばさん

2 変更の内容

- ・芋煮会の中止
- ・サロンの実施回数 10回→9回へ変更

3 変更の理由

- ・新型コロナウイルスの影響による、会場の人数規制のため
- ・新型コロナウイルスの感染拡大により、8月のサロンを中止したため



様式第12号(第11条関係)

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和4年 12月 20日

市川市長

団体名 市川わんぱく広場実行委員会

(団体番号 111)

代表者名

所在地

令和4年 4月 1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	288,948円
(2) 補助対象経費総額	190,330円
(3) 補助金交付決定額	100,780円
(4) 補助金交付概算払額	100,780円



(5) 実施報告

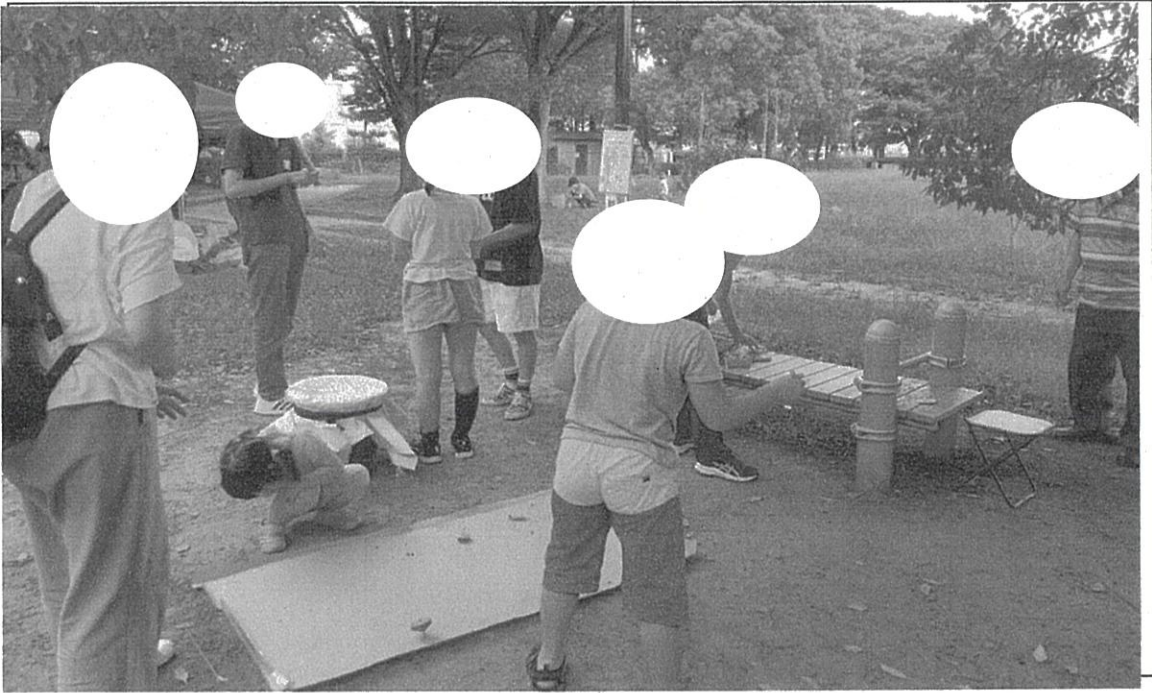
<p>補助決定事業の名称</p>	<p>一日プレーパーク「わんぱく広場」およびプレーパーク学習会</p>
<p>補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 ・一日プレーパークを 東海面公園で5月・9月・11月の年間3回実施。 専門職のプレーリーダーを依頼し、実施する中でスタッフも子どもへの対応を学ぶ。 遊び内容はロープ遊び、ハンモック、どろんこあそび、水遊び ダンボール工作、昔あそび、シャボン玉、革細工、アート遊びなど 感染状況などにより公園の使用規定でたき火は不可 ・「あそび場」のもつ力 ～子どもの成長と遊び～と題して学習会実施 講師: ████████さん (一社)千葉県冒険遊び場ネットワーク代表理事 NPO法人四街道プレーパークどんぐりの森代表 座学とワークショップ形式により実施 計画ではオンラインを利用しての参加者も想定していたが、会場のネット環境の制約もあり会場での参加のみとした。 参加人数は目標に届かなかったが、幅広い年齢層の参加者があり、満足度も高かった。また、今後も関わりたいという方もあり、11/27の一日プレーパークにボランティアとして参加した。</p>
<p>広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<p>一日プレーパークは近隣の小学校・幼稚園(富美浜小、塩浜学園1～6年、塩浜幼稚園)にチラシを全校配布。 実施前に公園周辺の住宅にご挨拶状を兼ねたチラシをポスティング、公園周辺にポスター掲示。 学習会は関係団体、個人にチラシを郵送。 プレーパーク、学習会ともに行徳新聞に告知依頼。また、ボランティアセンターにチラシ配布を依頼した。</p>
<p>補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 ・一日プレーパークを東海面公園で3回実施。 参加人数 5/3 390人 うち子ども212人 大人178人 9/4 183人 うち子ども95人 大人88人 11/27 370人 うち子ども152人 大人118人 プレーリーダー、スタッフ、ボランティアが子どもたちの遊びに関わることで子どもの発想を引き出したり、初めて出会った子どもたち同士と一緒に遊べるような環境づくりをした また、そこに参加した保護者も我が子以外の子どもと交流する場面も多数見られた。 ・「あそび場」のもつ力 ～子どもの成長と遊び～と題して学習会実施 参加人数 大人26人 (会場 行徳駅前公園研修室) 子どもにとっての遊びの重要性や見守る姿勢についての学習会を実施 科学的な裏付けに基づいた子どもへの対応を学ぶことができた。</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 子どもたちが自由に遊ぶプレーパークだが、そこにプレーリーダーや大人のスタッフがいて子どもたちの思っていることを引き出すことができる。そこには子どもたちが大人を信頼することが必要で、さらに回を重ねる関係をもっていく必要があり継続して実施していくことが大切だと思う。 ボランティアの中には子どもと関わった経験が少ない方もいて、どんな風に関わったら良いのか不安を持っていた方もいた。経験のあるスタッフが一緒に担当をもち、ボランティアや参加者と話したり遊んだりする中で解消することができた。子どもを見守る姿勢を知る大人を増やすことにもつながるので、ボランティアを積極的に増やしていきたい。 また、今年度もコロナ禍により地域の行事が実施できない状況が続き、公園を使つての事業に対し不安をもつ地域の方もいたため複数の公園で実施できなかったが、子どもの身近な場所が居場所となるためには複数の場所での実施が望ましい。地域の方との丁寧な関係づくりをして実施に向け努力していきたい。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : わんぱく広場 昔あそび

撮影年月日 : 2022年9月4日



タイトル : わんぱく広場 シャボン玉

撮影年月日 : 2022年11月27日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：一日プレーパーク「わんぱく広場」およびプレーパーク学習会

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	13000	学習会参加費
寄附金収入	8488	参加者からのカンパ
補助金収入	100780	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	172295	団体の本会計より充当
補助金返金	▲ 5,615	
合計	288948	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費	94480	94480	外部講師等の招へい <u>あり</u> なし プレーリーダー謝金 15000円×1名×2回 15000円×2名×1回 プレーリーダー交通費 1500円×2回 740円×2回 学習会講師亮交通費込 30000円
交通費	15020	13500	スタッフ交通費 のべ34人
消耗品費	45051	45000	文具、遊び道具12979円 印刷用紙14670円 インク14378円 衛生保健用品3024円
印刷製本費	8830	8830	学習会資料印刷費6270円 ポスターコピー代2560円
通信運搬費	2520	2520	学習会チラシ等郵送切手代2520円
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	11000	11000	プレーパーク用具使用料3回
原材料費	15047	15000	シャボン玉材料3741円 革工作材料3300円 ダンボール工作材料8006円
スタッフ謝金	97000		当日スタッフのべ34人
合計	288948	190330	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2023年 3月 31日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人
フリースタイル市川

(団体番号 112)

代表者名

所在地

令和4年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	44,358円
(2) 補助対象経費総額	44,358円
(3) 補助金交付決定額	300,000円
(4) 補助金交付概算払額	300,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	フードバンク事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フードバンクの運営（通年） 毎週の倉庫仕分け作業、運搬、受け渡し等の定常業務を行いました。また、倉庫のキャパシティ拡張の為、新しい物件への移設を行いました。 ・フードパントリーの実施（毎月第2土曜日） 毎月継続的に実施し、約80世帯/月、エリアとしては市内外74地区へ利用が広がり、累計189世帯へ食品提供を行いました。 ・フードドライブの実施 ニューボロイチ、妙典イオン内無印良品様、本八幡ICHI-ICHIマーケットにて、フードドライブイベントを実施しました。また、JR東日本、東京メトロ、京成電鉄様との共催でJR本八幡駅でのフードドライブイベントを実施しました。 ・ボランティア説明会の実施（半年に1回） 半年に一度のボランティア説明会を実施し、25名のボランティアメンバーを含む、現在40名の「フードバンクチーム」を運営しています。 ・フードバンク活動報告会の実施（9月） 市内の子ども食堂団体、困窮支援福祉団体、他地域のフードバンク団体、いしかわ社協が一同に会し、今後のコミュニケーション基盤や連携のあり方を具体的に協議するシンポジウムを開催しました。 ・計画通りにできなかった事 倉庫の移転が必要となり、これまで3拠点で実施していたフードパントリーの拠点数を一時的に1か所に集約する事になった。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	Twitterでの約3,000回以上に及ぶ発信や、Webコラム記事の発信、パンフレットの作成配布等、継続的な広報活動により認知を広め、沢山の個人の方に直接のお持ち込みや配送による食品の寄付をいただきました。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>一昨年と比較して約5倍以上、毎月1トン以上、合計21トン以上の容量の食品が流入するようになり、毎月増加傾向にある。仮に232円（参考：農林水産省発表22年のお米1キロあたり平均取引価格）を目安として単純計算をした場合、約487万円分のフードロス削減効果があったと考えられる（すべてがお米ではないのであくまで目安）</p> <p>安定的に食品が流入するようになった事で、子ども食堂団体、福祉団体、夜間学校など、他団体への後方支援として食品を毎月継続的に提供し、子ども食堂やフードパントリー開催の継続的な支援を行う事ができた。</p> <p>また、フードパントリーの利用者数が毎月約80世帯にまで増加し、経済的な理由にとどまらない課題を抱えているご家庭と、顔の見える範囲の関係性を築き、共助の輪、精神を拡げる事が出来ている。</p> <p>子ども食堂ネットワークという組織に所属している団体と、そうでない団体を一同に会したシンポジウムを開催し、統合する流れを作った。以後、行政・団体間の連携やコミュニケーションがより密接になった。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>活動の規模が拡大することにより、倉庫のスペースの不足、倉庫の運営・維持費の増加、食品の運搬に関わるコストと時間の増加、食品の受け入れ・受け渡しに関わるオペレーションの複雑化といった課題が顕在化してきた。 そこで新しい物件へ倉庫を引っ越しスペースを確保し、パントリー開催拠点を一時的に縮小するなど運用フローの大幅な見直しを行った。</p> <p>今後さらにフードロスの削減および共助の輪が市内に広がるよう、後方支援のオペレーションの最適化、運搬業務のアウトソース、ボランティアスタッフの体制を強化すると同時に、食品や運営資金の寄付を増やしていくよう、民間、企業、行政に対する広報活動に力を入れていきます。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル JR,京成、東京メトロ、フリースタイル市川共催イベント「フードステーション」

撮影年月日：2022年8月6日



タイトル : フードバンクシンポジウムの開催

撮影年月日：2022年6月25日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：フードバンク事業

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	¥300,000	市川市市民活動団体事業補助金（いちサポ補助金）
その他 （助成金等）		
会費充当	¥22,179	
補助金返金	¥-277,821	
合計	¥44,358	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費	¥0	¥0	
交通費	¥26,400	¥26,400	
消耗品費	¥3,658	¥3,658	
印刷製本費	¥0	¥0	
通信運搬費	¥5,550	¥5,550	
保険料	¥8,750	¥8,750	
使用料及び賃借料	¥0	¥0	
原材料費	¥0	¥0	
合計	¥44,358	¥44,358	

※ 領収書（原本）を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和5年3月31日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人
フリースタイル市川
(団体番号 112)
代表者名 [REDACTED]
所在地 [REDACTED]

令和4年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

フードバンク事業

2 変更の内容

代表者 [REDACTED]に変更

所在地 [REDACTED] →
[REDACTED]に変更

事業年度 3期を令和4年9月1日～令和5年3月31日に変更

(4期は令和5年4月1日～令和6年3月31日)



受益者の範囲変更 市川市民全体→フードパントリー（3カ所）の近隣
市民

3 変更の理由

代表者変更に伴い、事務所の登記住所を変更しました。

また事業年度につきましては、各種助成金の多くが3月末までの事業実施期間であり、今後助成金を活用しやすい体制を構築するため、決算の時期を3月末に変更しました。

他の助成金と差別化を図るために受益者の範囲を変更しました。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2023年1月5日

市川市長

団体名 ふくろう画廊

(団体番号 113)

代表者名

所在地

令和4年10月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、
下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	661,275円
(2) 補助対象経費総額	475,000円
(3) 補助金交付決定額	237,500円
(4) 補助金交付概算払額	237,500円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	2022 わたしたちの春夏秋冬
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>市川市内在住の高校生31名の参加と展示作品31点を当初の計画通り12月1日から12月28日まで展示をいたしました。当初の目論見から見当が外れたのは入場料を一般のみ300円(高校生以下と障害者手帳をお持ちの方とその介護者2名様まで無料)としたことで予定した入場料収入が得られなかったこと、物販も想定していた金額よりも少なかったことです。計画の進行具合は概ね予定通りでした。できなかったことの一つのものは入場料収入の確保と物販売上です。また、念頭に置いた保護者の理解ですが、保護者が来場することを好まない生徒も一部居たのですが、せっかくなんだから普段なにをしているのか観てもらったほうが喜ぶよ、と、促すと保護者に声をかけたりと、生徒が自宅へ帰ってから「久しぶりにお父さんと話をした」という生徒の声を聞けたりして、満点ではないですが、当初の目的に一歩踏み出せたのではと感じています。</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<p>【ポスター掲示・チラシ】 B2ポスター20枚 チラシ2,000枚</p> <p>掲示・配布箇所 ・中央図書館・平田図書室・南口図書館・行徳図書館・子ども図書館・市本・文化会館・行徳文化ホールI&I・芳澤ガーデンギャラリー・木内ギャラリー・郭沫若記念館・清華園・にわとりトラック店頭・東美本八幡店店頭・京葉ガステラスパンレットラック・市川商工会議所パンレットラック</p> <p>【メディア】 ・広報いちかわ12月3日号・いちかわ読売12月9日号</p> <p>【web】 ・いちかわ支え合いネット・いちかわイベントポータル・ふくろう画廊HP</p> <p>【SNS】 Twitter Instagram Facebook</p>
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>生徒の関係者が多く来場することは、生徒の声掛けなどにより実現すると予想していたのに加え、高齢者も図書館などでポスターを見て「若い人がなにかをしているのを応援したい」という気持ちでご来場をいただきました。想定外だったのは子育てママ(30代前半)が子ども(4歳未満)を連れての来場が多く、「子どもが美術に興味があるから」「美術館などへ連れて行くのに下準備として」などでの来場があり、また、生徒手書きのポストカードを購入いただいたり、生徒による似顔絵を楽しんでらしたことでした。一方、男性の来場者は一人で見えることは稀で、殆どは保護者であっても(恥ずかしいので)奥さんに連れられて買い物で、あるいは高齢者であっても奥さんと散歩がてらという方がほとんどでした。来場者の9割以上は女性であり、展示の内容を鑑みると意外な結果となりました。また、生徒の自主性による展示ということ念頭に置いており、ほとんど口をだすことなく撤収までを終えましたが、どうしても接客やしゃべること慣れていなく、このあたりは課題というより社会経験が伴って初めて成せることなのだとすることも目の当たりにしました。学校によっては顧問の先生が積極的だったり、全く興味のない顧問の先生も居て、これは少しびっくりしました。美術部顧問の先生でも美術に造詣があるわけではなく、町内会のゴミ当番のような持ち回りで行っているという事も知りました。また、住民自治という点で申し上げれば、弊画廊に於いてるほサロンを実施していることも子育て世代に響いたらしく、また遊びに来たいという声を頂いたことです。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>今回12月開催とし、これは生徒の受験などの都合によるものだったのですが、開催時期は良い季節のほうが来場が見込めるということです。次回開催時期は新三年生(現二年生)と相談していますが、夏から秋、あるいは全ての入試が終わった2月後半から3月半ば(会計年度にご報告ができる程度の時期)というのが妥当だと感じています。会場については市内の他の会場も視野に入れていますが、会期を少しでも長く取り、来場のチャンスを増やすことのほうが、この展示のようにネームヴァリューのない企画に於いては重要であり、また、告知についてもSNSとwebが一番反響がよく、今回の展示では広報などの紙媒体はほとんど効果がありませんでした。また、来場者として「子育てママ」という予想していなかった層にニーズがあることがわかり、その世代へ向けた訴求も検討しています。また、会期中、物販が思うように行かず(手まり)、生徒の発案で手書きのポストカードを投げ銭制で販売したところ、好評をいただいたことです。生徒の保護者や子育てママからは来年もやってねという評価もいただけて生徒も甲斐を感じていました。また、今回の一番の課題である入場料と物販ですが、年末の物入りの時期に加えて円安による影響、スタグフレーションなど、300円と抑えた金額だと思っていましたが思ったように一般の来場者が増やせませんでした。例えば一般的に本を読む人はベストセラーが数百万部という数字から勘案すると全人口の10%程度、美術となると数%程度の人にしか興味のないもので、ピカソとかゴッホなどの展示ではないので、改善策としては住民の方の共感を得られるように、加えて保護者の来場を増やせるように生徒の口コミを活用したいと考えています。また、とある子育てママからは(居場所として)子ども食堂もしてほしいという声もありましたが、現状では実現が難しく今後の課題としたいです。</p>

その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル：来場者の様子

撮影年月日：2022年12月24日



タイトル：在廊生徒たち

撮影年月日：2022年12月17日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 2022 わたしたちの春夏秋冬

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	42,404	入場料収入 32,400円 物販収入 10,004円
寄附金収入	200,000	協賛事業会社様からの協賛金
補助金収入	237,500	市川市市民活動団体補助金
その他(助成金等)	0	無し
会費充当	181,371	団体の本会計より充当
合計	661,275	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	0	0	外部講師等の招へい なし
交通費	0	0	
消耗品費	75,206	75,000	コピー機、ジェット、感染症対策消毒液、マスク、プリンターインク、コピー用紙、梱包用ダンボール、(※詳細添付領収書御覧ください)
印刷製本費	110,000	100,000	A4チラシ2,000枚、B2ポスター20枚、左記印刷、デザインなど制作費
通信運搬費	0	0	
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	330,000	300,000	展示用イーゼル20台、展示用ディスプレイ一式、作品用照明一式
原材料費	0	0	
HP・SNS運用費	110,000		イベント用HP制作、SNS運用費一式
スタッフ昼食	21,152		会期中スタッフ昼食 延べ人数90名
会議費	14,917		スタッフ打ち合わせ軽食、飲料など
合計	661,275	475,000	

※ 領収書(原本)を添付してください。